膵臓癌(進行・再発)　1st Line

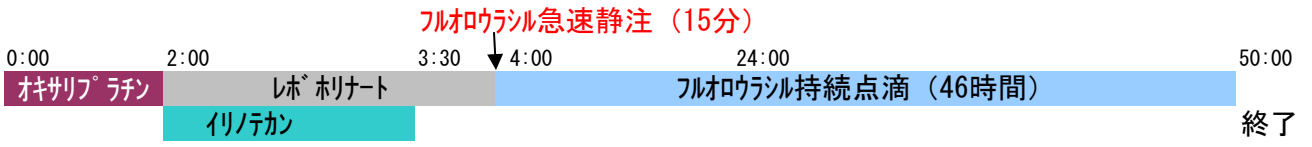
FOLFIRINOX療法

患者ＩＤ：　@PATIENTID　　（　　）コース目

患者氏名　：　@PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
$HEIGHT01_Doc	HEIGHT01_D	#VALUE!

投与ｽｹｼﾞｭｰﾙ：　*１コース１４日。　DAY 1に点滴開始。50.5時間。*



投 与 基 準 ：　class Ａ　（２回目以降class Ｂ）

※ UGT1A1遺伝子多型なし、HBVチェック必須、PS 0～1、胆道ドレナージ処置なし

※ 適正使用ガイドの基準に準じ、腫瘍内科あるいは腫瘍内科と共同での治療を基本。

※ 2コース終了まで入院での治療導入を基本。

《 使 用 薬 剤 》

オキサリプラチン（L-OHP）：オキサリプラチン 50mg/V、100mg/V

ｲﾘﾉﾃｶﾝ（CPT-11）：イリノテカン 40mg／2mL／V、100mg／5mL／V

レボホリナート（Ｌ-LV）：（レボホリナート）　25mg、100mg/V

フルオロウラシル：フルオロウラシル注（250mg/5mL、1000mg/20mL）

投与量：

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)
オキサリプラチン	85 mg/㎡	#VALUE!	
イリノテカン	180 mg/㎡	#VALUE!	
レボホリナート	200 mg/㎡	#VALUE!	
ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ(急速)	400 mg/㎡	#VALUE!	
ﾌﾙｵﾛｳﾗｼﾙ(持続)	2400 mg/㎡	#VALUE!	

《　タイムスケジュール：治療開始時刻を0:00とします。　》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

1月1日　（金）

	ﾒｲﾝ	側管	
0時00分	①		生理食塩液 50mL＋アロキシ 1V＋デキサート 13.2mg 15分で点滴静注
0時15分	②		５%ブドウ糖液 250mL ＋ **オキサリプラチン注**　mg 2時間で点滴静注　0.00 mL
2時15分	③		生理食塩液 250mL ＋ **イリノテカン注**　mg ④と同時に開始し、90分で点滴静注　0.00 mL
		④	生理食塩液 250mL ＋ **レボホリナート注**　mg 側管から③と同時に開始し、２時間で点滴静注
4時15分	⑤		生理食塩液 40mL ＋ **フルオロウラシル注**　mg 15分以内で急速静注　0.00 mL
4時30分	⑥		生理食塩液 50mL フラッシュ（終了後ｵﾃｨｰﾙﾄﾞ抜去）
4時35分	⑦		生理食塩液　140 mL　＋ **フルオロウラシル注**　mg ﾄﾚﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟで46時間持続投与　0.00 mL

1月3日　（日）

2時15分　頃　　点滴終了後、**ヘパフラッシュ**を**注入**し、**抜針**する

REFERENCE

Thierry Conroy, M.D.,Francoise Desseigne, M.D.,Marc Ychou M.D.,Ph.D.,et al: N EnglJ Med 2011;364:1817-25

FOLFIRINOX versus Gemcitabine for Metastatic Pancreatic Cancer

2014年1月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2014年1月20日　更新:2017年6月1日